



益田市小・中学校連合音楽会

感動グラントワ!

響け西南魂

10月27日に開催された、益田市小中連合音楽会は、西南中学校として最後の出演となりました。

今年は、生徒が話し合い、5人だけで演奏することに決め、「感動グラントワ」を目標に、4月より練習に取り組みました。

本番では、今まで練習してきたことを一人一人が精一杯発揮し、魂を込めて、気持ちを合わせ、太鼓の音を会場いっぱいに響かせました。



音楽会までのあゆみ



4月に、「今年の音楽会は5人で演奏する」ことを決める。



昨年度と同じように、月2回程度の練習を開始する。



より良い演奏にするため、夏休みも昨年以上に特訓を重ねる。



2学期からは、休日練習を行う。公民館をお借りしたことも…。



昼休みも自分たちで自主的に研鑽に励む。



音楽会当日も、出発直前まで、最後の調整を丁寧に行う。



11月4日に、シルクウェイ日原で開催された、JAまつりにご招待いただきました。



11月11日の西南中学校文化祭では、教職員も一緒に演奏をしました。



3年生になり、今まで以上に難しい内容と、増えた練習時間で最初は嫌だったけど、最後は「もう少し、時間がほしい」と思うようになりました。音楽会でたたき終わると「あっという間だった」と感じました。「この日のためにがんばって良かった」と思いました。達成感がありよかったです。

腕が上がらず何回も注意をされて、1・2年生の頃はあまり太鼓が好きでなく、3年生でも「何で土日でも練習するのか」と思ったこともあり。グラントワの演奏では緊張したけど、大きな声が出てよかったです。「練習していてよかった」「今福さんに出会えてよかった」と思いました。

今年は「今までにない演奏をしたい」と思い、バチに血がにじんだ時も「がんばった証」と、つらくありませんでした。本番ではたくさんの方からの拍手や「今までで一番良かった」と声をかけられ、達成感でいっぱい。本気で和太鼓をしてよかったです。和太鼓は中学校生活の宝物です。

僕は太鼓の時間だけ自分をさらけ出せる気がして、とても楽しかったです。今年は生徒だけの演奏で緊張し、心配でした。はじまると、おもいきりたたき、達成感でいっぱいでした。拍手の量がすごくて「がんばったかいがあったなー!」と心底思いました。3年間本当に良い体験ができました。

最後まで「前を見ろ!」「腕を上げろ!」「声を出せ!」「表情をつくれ!」と今福さんに言い続けられました。それでも、グラントワでは自分なりに、いい発表ができ、たたき終わったとき、大きな達成感がありました。「感動させる!」ということを目指して、心を1つにして取り組めたと思います。



熱心なご指導で、5人の心と技を鍛え、素晴らしい体験をさせていただいた今福優さん、ご支援いただいた多くの皆さん、本当にありがとうございました。



西南中の和太鼓活動は、公益財団法人JKAの支援を受けています。